

## 警察組織・活動基盤の整備充実について



警 察 本 部

## 第1 警察組織の整備充実

1 組織体制の現状	4
(1) 組織概要	4
(2) 定員	5
(3) 令和5年度の組織整備	5
(4) 警察署の再編と再編地域の治安情勢	6
2 優秀・有用な人材の確保	7
(1) 多角的な募集活動	7
(2) 警察官採用試験制度の見直し	7
(3) 警察官採用試験における資質の見極め	8
3 若手警察官の早期育成	8
(1) 初任教養の充実・強化	8
(2) 早期戦力化に向けた職場環境の整備と教養訓練の推進	9
4 社会情勢の変化に対応するための警察運営に向けた取組の推進	9
(1) 推進事項	9
(2) 取組内容	9
5 女性警察官の採用拡大等	10
(1) 女性警察官の採用拡大	10
(2) 女性警察官の登用拡大	10
(3) 女性警察官の執行力強化	10
6 各種教養の推進	10
(1) 技能指導官等による伝承教養	10
(2) 現場執行力の強化に資する術科教養	10
7 ワークライフバランスの推進	11
(1) 働き方改革	11
(2) 各種休暇の取得促進	11
(3) 仕事と家庭生活の両立支援	11
(4) 男性の育児等への参画支援	11
(5) 各種ハラスメント防止対策	11
8 職員の健康の維持増進のための諸対策の推進	12
(1) 心の健康づくり	12
(2) 生活習慣病対策	12
9 感染症等の防止対策と業務継続のための体制の確立	12

## 第2 警察施設等活動基盤の整備充実

1 警察施設の整備状況	13
(1) 主な施設の現況	13
(2) 施設整備の概要	14
2 装備資機材等の整備状況	15
(1) 車両	15
(2) 警察用航空機	16

(3) 警察用船舶	16
(4) 装備資機材の整備充実	17
(5) 機動装備隊の編成・運用	17
<b>3 情報処理基盤の整備状況</b>	<b>17</b>
(1) 情報処理機器	17
(2) 情報管理システムの概要	18
(3) ウェブ会議システムの活用	19
(4) 情報管理システムの合理化・高度化の推進	19
(5) 情報処理能力向上	19

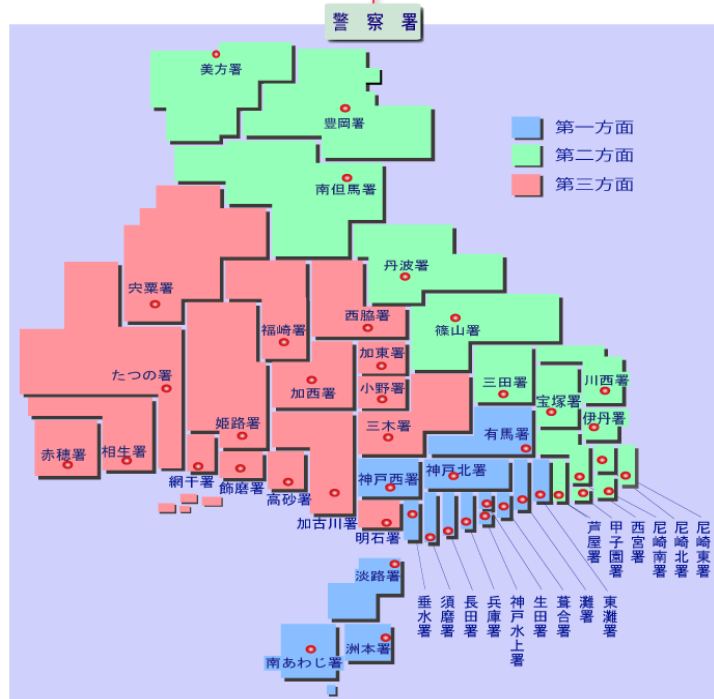
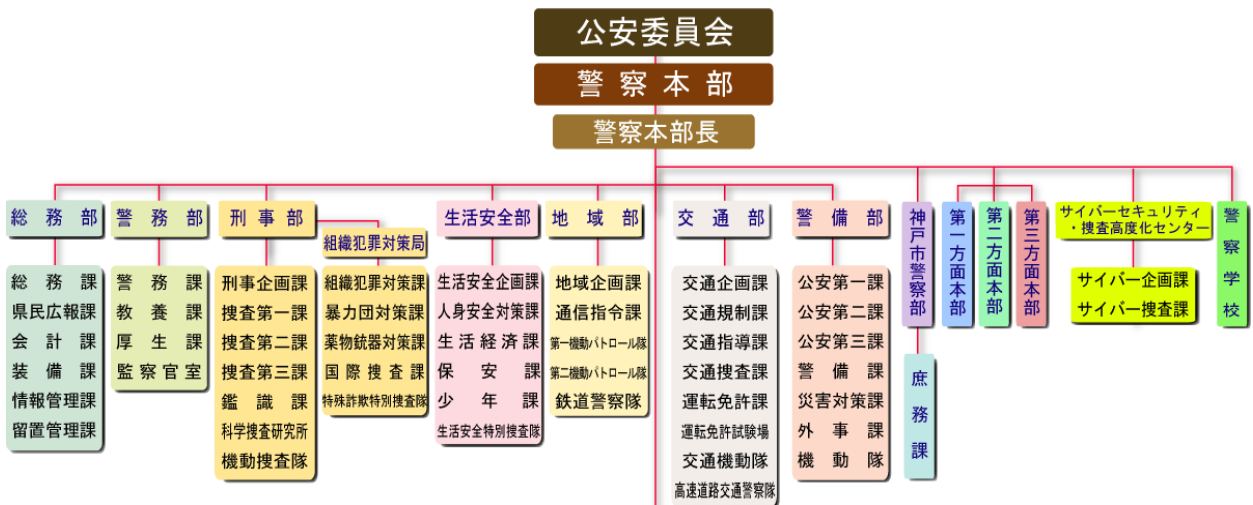
# 第1 警察組織の整備充実

## 1 組織体制の現状

### (1) 組織概要

本部 7部 1局(組織犯罪対策局)、36課、1室(監察官室)、  
 1所(科学捜査研究所)、1場(運転免許試験場)、  
 9隊(機動捜査隊ほか)  
 1市警察部(神戸市警察部)、3方面本部、  
 1センター(サイバーセキュリティ・捜査高度化センター) 2課、  
 1校(警察学校)  
 警察署 46署

(令和5年4月1日現在)



交番等	交番	426	駐在所	272
	警備派出所	2		

## (2) 定員

### ア 定員の推移

区分	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
警察官		11,953	11,953	11,953	11,953	11,953
	増減		0	0	0	0
		増員	0	0	0	0
		削減	0	0	0	0
一般職員		923	923	923	923	923
	増減		0	0	0	0
		増員	0	0	0	0
		削減	0	0	0	0
合計		12,876	12,876	12,876	12,876	12,876

### イ 警察官階級別定員（令和5年度）

階級	警視	警部	警部補	巡査部長	巡査	合計
定員(人)	299	705	3,531	3,653	3,765	11,953

## (3) 令和5年度の組織整備

整備項目	概要
サイバー空間の脅威に的確に対処するための体制強化	既存の各部に属さない所属であるサイバーセキュリティ・捜査高度化センターの機能を強化し、一元的にサイバーセキュリティ対策及び捜査支援を推進する体制を構築するため、生活安全部の分掌を改め、同部に置くサイバー犯罪対策課を発展的に解消した上で、同センターにサイバー企画課及びサイバー捜査課を設置し、サイバー空間の脅威への対処能力を強化した。
特殊詐欺対策の体制強化	特殊詐欺事件の初動捜査体制等の充実を図るとともに、事件に関与する暴力団等犯罪組織への対策を一元的に行うなど、特殊詐欺の根絶に向けた取締りを一層強化するため、刑事部組織犯罪対策局特殊詐欺特別捜査隊に分析係を設置し、及び同隊捜査係の体制を強化した。
組織犯罪対策の体制強化	暴力団等犯罪組織の資金源対策並びに情報の集約及び分析に基づく取締りを強化するため、刑事部組織犯罪対策局組織犯罪対策課の附置機関である組織犯罪特別捜査室を改組し、同室を犯罪収益対策室に改称した上、同室分析係の体制を強化した。
警衛警護実施体制の強化	警察庁と連携した警衛計画及び警護計画の策定並びに現場指揮官の指名等組織的かつ計画的な警衛及び警護を行うため、警備部警備課の附置機関として警衛警護室を設置した。
テロ等対策のための体制強化	テロ、経済安全保障等の国内外の脅威に関する警備情報の収集活動を推進するため、警備部の体制を強化した。
重要凶悪事件検挙のための体制強化	児童虐待事案における初動捜査を強化し、その事件性の見極め等を徹底するため、刑事部捜査第一課に児童虐待捜査係を設置した。
改正道路交通法施行に向けた体制強化	道路交通法の一部改正に伴い、特定自動運行に係る事前許可制度及び自動配送ロボットの届出等に対応するため、交通部交通企画課企画係の体制を強化した。
列車内等における警戒活動の体制強化	走行中の列車内等における乗客に対する殺傷事案及び子供と女性に対する性犯罪等への対策を推進するため、地域部鉄道警察隊運用係及び鉄道係の体制を強化した。

#### (4) 警察署の再編と再編地域の治安情勢

##### ア 警察署の再編

令和3年3月、小規模警察署の統合により規模を拡大することによって、事態対処能力の向上を図るため、たつの警察署と佐用警察署を統合して「たつの警察署」、朝来警察署と養父警察署を統合して「南但馬警察署」、豊岡南警察署と豊岡北警察署を統合して「豊岡警察署」をそれぞれ設置した。

再編地域においては、地域住民が抱えている不安を解消するため、「佐用警察センター」「養父警察センター」「城崎警察センター」を設置し、連絡調整官を配置するとともに、パトカーを配備している。

また、警察本部地域部第二機動パトロール隊が、各警察センターを活動拠点に機動警らによる犯罪の予防検挙、事件事故の発生に即応するなど、地域住民の安心感の醸成に努めている。



【佐用警察センター】

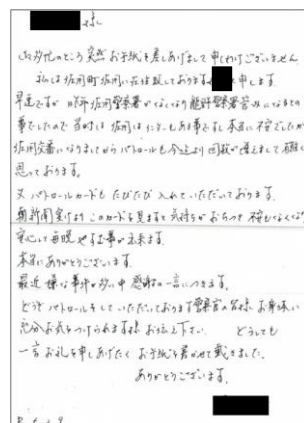
##### イ 再編後の治安情勢

再編地域における治安情勢については、再編前と比較して、刑法犯認知件数、人身事故件数は減少し、110番受理件数は、大きな増減なく推移している。

再編後、地域住民からは「巡回のパトカーを見かけることが多くなり安心している。」「駐在所勤務員がよく動いてくれている。」等の好意的な意見が寄せられている一方で、「災害発生時等の対応が不安」等の意見も寄せられていることから、引き続き、あらゆる警察活動を通じて丁寧な説明を行っていく。



【災害発生時の初動対応】



【住民からの声】

##### ウ 関係機関との連携等

各警察センターが中心となり、災害訓練、各種会合、イベント等を通じて関係機関や地域住民と情報共有・意見交換を積極的に実施し、懸案事項等を把握して警察活動に反映させている。

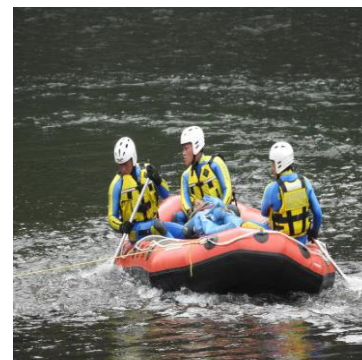
【各種訓練等の実施状況】



【佐用警察センター】



【養父警察センター】

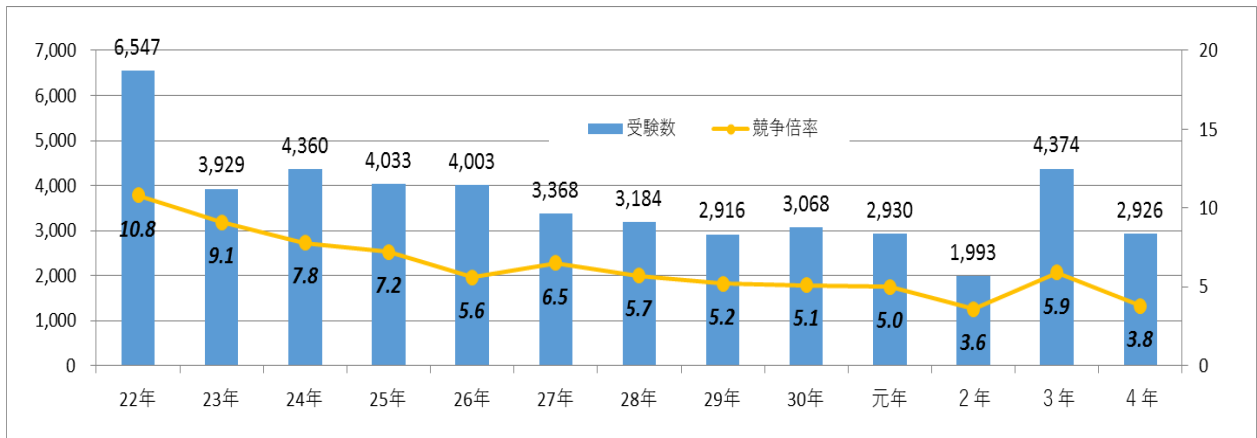


【城崎警察センター】

## 2 優秀・有用な人材の確保

少子化による就職適齢人口の減少など警察官採用試験を取り巻く状況が厳しさを増す中、優秀・有用な人材を確保するため、各種取組を推進している。

【警察官採用試験の受験状況の推移】



### (1) 多角的な募集活動

警察官志望者をより多く確保するため、県内外の高校、大学等への訪問活動、「オープンキャンパス」等体験・体感型の業務説明会やオンライン説明会の実施に加え、県警ホームページ、民間就職支援サイト等各種広報媒体を活用した募集活動を行っている。

また、リクルーター制度の効果的な運用や大学生等を対象としたインターンシップの開催のほか、硬式野球部や空手道部等県警体育クラブと連携した合同練習会及び説明会の実施等、多角的な募集活動を実施している。



【令和5年度警察官募集ポスター】



【オープンキャンパス（訓練体験）】



【県警硬式野球部との合同練習会】

### (2) 警察官採用試験制度の見直し

優秀・有用な人材を確保するため、採用試験においては、

- 試験回数を年2回から3回に増加（平成29年度～）
- 身長及び体重基準の撤廃（平成30年度～）
- スマートフォンからの受験申込みの実施（令和3年度～）
- 共同試験における女性区分の実施（令和4年度～）

等の見直しを図った。

### (3) 警察官採用試験における資質の見極め

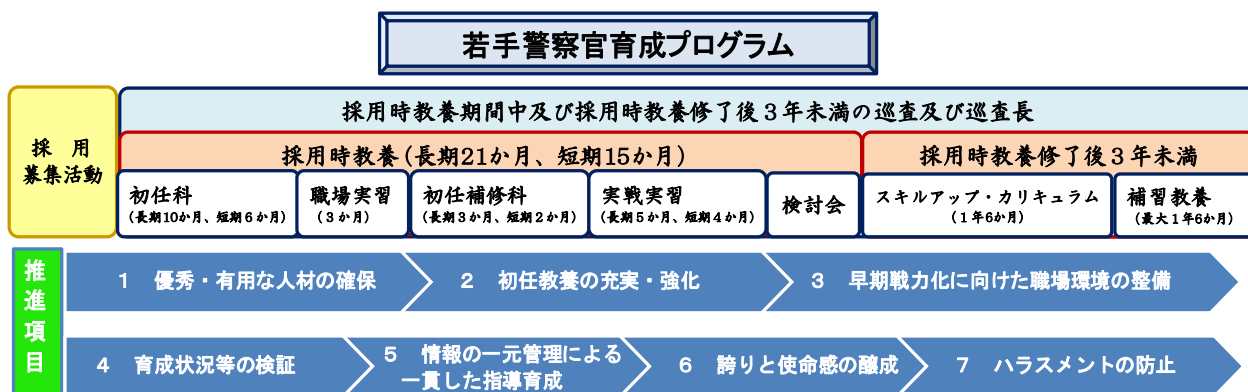
部外講師による研修会を通じた面接官の面接技能の向上や面接試験時間の十分な確保等により面接試験の充実を図っているほか、警察官に特化した独自の適性検査を導入するなどにより、資質の見極めに努めている。



【面接官研修会（模擬面接）】

## 3 若手警察官の早期育成

実務経験の少ない若手警察官の早期戦力化に県警察全体で取り組むため、「若手警察官育成プログラム」を策定し、採用から初任教養（初任科における教養）、その後の職場における教養までを一体的に推進している。



### (1) 初任教養の充実・強化

#### ア 初任科生に対する教育・指導育成の充実

目の行き届いた個別指導を徹底するため、各クラスに学級担任教官、副担任教官を1名ずつ配置している。

また、ゼミ形式の検討会により、自ら学び考える姿勢を培うほか、現場想定訓練を充実させるなど、警察官に求められる資質・技能の修得に努めている。



【ゼミ形式の検討会】

#### イ 初任科生の体力向上対策の強化

体力向上意識の高揚を目的として、体力検定を計画的に実施するとともに、強靱な体力及び精神力を養うため、柔道、剣道、逮捕術等の各種術科訓練を強化し、精強な第一線警察官の育成に努めている。



【柔道訓練】



## (2) 早期戦力化に向けた職場環境の整備と教養訓練の推進

### ア 若手警察官の育成に向けた指導体制の確立

若手警察官を多く配置している警察署に40歳未満の警部補昇任者等を優先的に配置して、若手警察官が相談しやすい環境を整えた上、実務を通じたきめ細かな指導を行い、若手警察官の早期戦力化を図っている。

### イ 若手警察官育成班による指導強化

本部教養課に編成された若手警察官育成班が、県下各警察署を巡回し、若手警察官を対象とした現場対応訓練や捜査書類作成訓練を実施しているほか、個別面談等により育成状況を把握・分析し、指導の内容・方法に反映させている。

また、オンラインでも、個々の能力、要望等に応じた指導や各部門と連携した実務能力向上のための教養を行っている。



【巡回教養】



【オンライン教養】

### ウ 実戦的総合訓練等の実施

各警察署において、第一線現場で取扱いの多い事案や教訓とすべき事案を題材とした想定に基づき、届出の受理(事案の認知)から現場臨場、職務質問、擬律判断、逮捕、捜査書類の作成までの一連の警察活動について、ロールプレイング方式により訓練を実施している。



【事案想定に基づく実戦的総合訓練】

## 4 社会情勢の変化に対応するための警察運営に向けた取組の推進

### (1) 推進事項

警察本部内に推進体制を確立し、警察運営の合理化・効率化、第一線における職務執行を支える取組、先端技術等の活用について、部門横断的に検討している。

### (2) 取組内容

防犯カメラ画像の高度な鮮明化処理を迅速に行い、判別が困難な車両のナンバープレート等を推定する「画像鮮明化システム」、SNS上での児童買春、特殊詐欺、違法薬物等に関する違法・有害情報を自動検出する「AI技術を活用したサイバーパトロール」等先端技術を活用したシステムの導入のほか、定型業務を自動化するRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を取り入れるなど、社会情勢の変化に対応するための警察運営に向けた取組を推進している。

## 5 女性警察官の採用拡大等

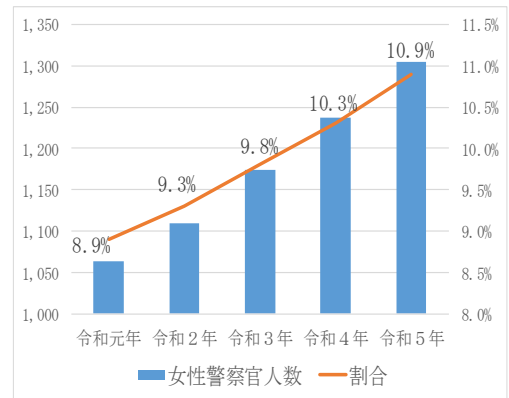
### (1) 女性警察官の採用拡大

令和5年4月現在、女性警察官は約1,300人で、県警察全体に占める割合は約11%となっている。

令和8年4月までに12%とすることを目標に、女子大等への学校訪問活動、女性対象の業務説明会等、募集活動を強化している。

また、結婚、出産、育児、介護等のためにやむを得ず中途退職した警察官を一定の要件の下で再度採用する制度を導入している。

【女性警察官の人数及び割合の推移】



### (2) 女性警察官の登用拡大

性犯罪やストーカーの被害女性に対するきめ細かな支援活動など女性の特性を活かすことのできる分野のほか、個々の能力や適性に応じて、管理部門、刑事、生活安全などの捜査部門といった幅広い分野に配置している。

### (3) 女性警察官の執行力強化

第一線現場で勤務する女性警察官の執行力強化のため、女性警察官に対する逮捕術訓練のほか、女性警察官に必要とされる業務に特化した総合教養を行う女性警察官スキルアップ講習、女性警察官が性犯罪を認知した際の初動捜査要領に関する教養を行っている。



【女性警察官スキルアップ講習】

## 6 各種教養の推進

### (1) 技能指導官等による伝承教養

卓越した専門的スキル等を有する警察官を技能指導官や伝承官に指定し、それぞれの知識、スキルを伝承する教養を組織的に推進している。

### (2) 現場執行力の強化に資する術科教養

本年度から、柔道・剣道に加え、新たに空手道を警察術科として導入し、より一層の執行力強化を図っているほか、総合対処法訓練、術科指導者等による交番・駐在所への巡回指導や映像射撃シミュレーターを活用した拳銃使用判断訓練など、実践的な訓練を充実させ、現場執行力強化に資する術科教養を推進している。



【総合対処法訓練】



【空手道訓練】



【拳銃使用判断訓練】

## 7 ワークライフバランスの推進

「兵庫県警察におけるワークライフバランス等の推進のための取組計画」に基づき、働き方改革、各種休暇の取得促進、仕事と家庭生活の両立支援等のワークライフバランスの実現に向けた取組を推進している。

### (1) 働き方改革

働き方についての価値観及び意識の改革の必要性について教養を行うとともに、スライドワーク制やフレックスタイム制を試行的に導入するなど、柔軟で多様な働き方の実現を推進している。

### (2) 各種休暇の取得促進

職員の業務能率の向上や心身のリフレッシュを図り、組織の活性化及び警察力の向上を推進するため、年次休暇を始めとする各種休暇の計画的取得を促進している。

年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
年次休暇平均取得日数	10.6	10.6	11.3	11.9	11.6

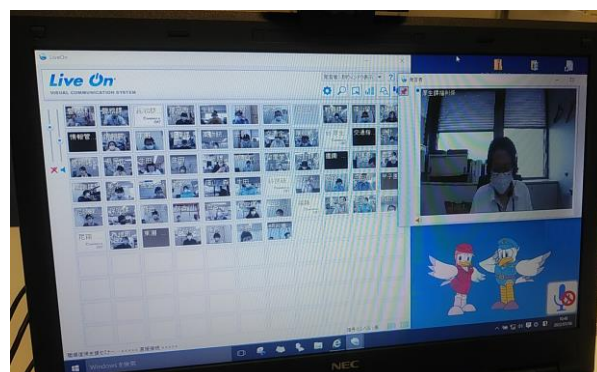
### (3) 仕事と家庭生活の両立支援

職員に対し、福利厚生冊子「いきいきライフ」を活用するなどして、各種制度を周知するとともに、育児・介護を抱える職員については、柔軟な勤務形態の活用や通勤の負担が少ない所属への配置、職場復帰等支援セミナーの開催等、仕事と家庭生活の両立支援を行っている。

また、幹部をはじめとする職員の育児・介護に対する理解の促進を図り、職員が制度を利用しやすい職場環境の構築を推進している。



【福利厚生冊子「いきいきライフ」】



【ウェブ形式による職場復帰等支援セミナー】

### (4) 男性の育児等への参画支援

男性職員による家庭生活への参画を目的とした意識啓発に取り組むとともに、子育て支援制度の周知や育児休業の取得に関する意思確認を行うなど、男性職員の育児休業等の取得を推進している。

### (5) 各種ハラスメント防止対策

各所属でハラスメント相談員を指定するとともに、警察学校卒業間近の学生に対する指導教養や若手職員との面談を実施するなどにより、兆候の早期把握、早期対処に努め、ハラスメントの未然防止を図っている。

## **8 職員の健康の維持増進のための諸対策の推進**

### **(1) 心の健康づくり**

各執務室の職員の中から指名されたピアサポーターによる積極的な声掛け、部内の医師等による心身の健康相談対応、部外カウンセラー等による専門的な相談対応、部内外の各種相談窓口の周知等に取り組むことで、職員が不安や悩み、困りごと等を相談しやすい環境づくりに努めるとともに、ストレスへの気付きを促し、職場環境の改善を図るため、全職員に対するストレスチェックを実施している。

### **(2) 生活習慣病対策**

生活習慣病予防を目的として、特定保健指導を実施するなど、職員個々の自主健康管理意識の醸成を図っている。

また、定期健康診断の実施及び診断結果に基づく精密検査の受診指導や医師、保健師等による健康相談等の対策を推進している。

## **9 感染症等の防止対策と業務継続のための体制の確立**

県内において新型コロナウイルス感染症等の感染症がまん延した場合にも、警察力を維持し業務を継続できるよう、感染者が発生した警察署に、状況に応じて本部員を応援派遣する等治安維持に間隙が生じない体制を確立するとともに、引き続き職員の体調管理の徹底等の基本的な感染症対策を行い、職員一人一人が感染の予防と拡大の防止に努めることとしている。

## 第2 警察施設等活動基盤の整備充実

### 1 警察施設の整備状況

警察活動の基盤である警察署や交番、駐在所等の施設は、地域住民の利便性の確保、職員の勤務能率の向上及び職員の士気の高揚等を図る観点から、建替・改修整備を計画的に推進している。また、高齢者や体の不自由な方等の利便を図るため、建替時には、玄関スロープ、エレベーター等を設置するなど、施設のバリアフリー化も推進している。

#### (1) 主な施設の現況

(令和5年4月1日現在)

現有施設数		備 考
警 察 本 部	3	本館、別館、第二庁舎
運 転 免 許 試 験 場	2	運転免許試験場(明石)、但馬運転免許センター
運 転 免 許 更 新 セ ン タ ー	4	明石運転免許更新センター 阪神運転免許更新センター 神戸優良・高齢運転者運転免許更新センター 姫路優良・高齢運転者運転免許更新センター
本 部 執 行 隊	5	第一機動パトロール隊・機動捜査隊(併設) 第二機動パトロール隊、鉄道警察隊、交通機動隊 高速道路交通警察隊
警 察 学 校	1	本館、生徒寮、講堂、射撃場、体育館
機 動 隊	1	庁舎、宿舎、潜水訓練棟等
篠 山 留 置 施 設	1	成人室(12)、少年室(3)、保護室(1)、取調室(22)、 面会室(2)
科学捜査支援センター	1	証拠物件管理室、DNA型鑑定室、画像デジタル記録 解析室等
警 察 犬 訓 練 所	1	犬房(14)、屋内訓練室、屋外訓練場等
警 察 署	46	生田警察署ほか45警察署
警 察 セ ン タ ー	3	兵庫県警察佐用警察センターほか2警察センター
分 庁 舎	3	豊岡警察署出石分庁舎ほか2分庁舎
交 番	426	県下46警察署の管轄区域内に設置
駐 在 所	272	県下28警察署の管轄区域内に設置
警 備 派 出 所	2	大阪国際空港警備派出所、神戸空港警備派出所
待 機 宿 舎	49	西宮待機宿舎等
独 身 寮	21	ウイング姫路等

## (2) 施設整備の概要

### ア 警察署の耐震改修

平成25年当時に耐震基準を満たしていなかった12警察署のうち、7警察署の耐震改修、3警察署の建替整備を完了した。

#### (ア) 耐震改修

平成27年度完了 加東、朝来（現南但馬）、洲本警察署

平成28年度完了 灘、葺合、甲子園、尼崎北警察署

#### (イ) 建替整備

平成28年度完了 尼崎東警察署

平成30年度完了 三木警察署

令和4年度完了 尼崎南警察署

#### (ウ) 建替整備検討中

生田、神戸北警察署

#### 【尼崎南警察署の概要】

建築場所	尼崎市昭和通2丁目6番82号
供用開始	令和4年7月19日
総事業費	約47億2,600万円
構造	鉄筋コンクリート造6階建
主な特徴	浸水対策として、2階以上に執務室を設置



【尼崎南警察署】

### イ 警察施設の老朽化対策

財政負担の軽減・平準化を図りながら警察施設の機能や安全性を確保するため、「兵庫県公共施設等総合管理計画」に基づき、計画的・効率的な老朽化対策を実施している。



【長寿命化改修予定のたつの警察署】

### ウ 交番・駐在所の建替整備

耐用年数を経過した施設のうち、損傷や老朽化の著しい施設については改修又は建替整備の検討を行っている。

なお、駅前再開発や移転補償等の特殊事情を伴う場合は個別に建替整備を実施している。



【尼崎東警察署園田交番】

## エ 待機宿舎・独身寮の整備

警察署建替時に併せた独身寮の整備や他部局での運用を終えた職員住宅を改修して独身寮等として活用している。

また、耐震性が不十分な待機宿舎等については、計画的に廃止することとしている。



【職員住宅を改修したウイング須磨寺等】

## オ 女性警察官の勤務環境改善

警察署等の建替えや耐震改修に併せて、女性専用シャワー室や女性専用仮眠室等を順次整備し、女性警察官の勤務環境の改善に努めている。



【三木警察署女性専用仮眠室】

## 2 装備資機材等の整備状況

迅速、的確な警察活動には、装備資機材の活用が必要不可欠であることから、車両を始めとする各種装備資機材の充実強化に取り組んでいる。

### (1) 車両

県下に四輪車2,064台、二輪車1,263台を配備し各種警察活動に活用している。

#### ○ 四輪車保有状況 (令和5年4月1日現在)

車種	台数
四輪車	2,064
捜査用車	750
小型警ら車（ミニパト）	384
無線警ら車（地域パト）	151
交通取締用（交通パト）	101
交通事故処理車等	121
その他警察活動用	557



【無線警ら車（地域パト）】

#### ○ 二輪車保有状況 (令和5年4月1日現在)

車種	台数
二輪車	1,263
白バイ	162
警ら用原付車	986
その他警察活動用	115




【白バイ】

## (2) 警察用航空機

### ア 警察用航空機の運用状況

警備課航空隊にヘリコプター2機を配備し、災害派遣等の広域運用及び警衛警護活動等のほか、パトロール活動、緊急配備活動、交通指導取締活動、山岳遭難・水難救助活動等、ヘリコプターの特性を活かした諸活動に運用している。

#### ○ 警察用航空機の概要

名称 諸元等	愛称「ひよどり」	愛称「フェニックス」
		
型 式	レオナルド式A109E型	エアバスヘリコプターズ式 EC155B1 型
全 長	13.07m	14.30m
搭 乗 人 員	8人(含む操縦士)	14人(含む操縦士)
最 高 速 度	約300km/h	
航 続 時 間	2～3時間程度	
航 続 距 離	約500km	約800km
特 殊 装 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘリコプターテレビシステム</li> <li>・救難吊り上げ装置</li> <li>・機外物資懸垂装置</li> <li>・搬送担架装置(1基)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘリコプターテレビシステム</li> <li>・救難吊り上げ装置</li> <li>・搬送担架装置(1基)</li> </ul>

#### ○ 出動状況

区 分	令和3年	令和4年	増減
出 動 件 数	366	500	+134

### イ 総合的画像情報伝送システム

画像解像度がより高度なデジタル方式の伝送システムを運用している。

## (3) 警察用船舶

神戸水上警察署及び飾磨警察署に警察用船舶6隻を配備し、パトロール活動や水難救助活動を始め、プレジャーボート等による危険行為の取締り等、各種警察活動に運用している。



【警察用船舶「ぬのびき」】

#### ○ 配備状況（令和5年4月1日現在）（隻）

	17m型	12m型	8m型	計
神戸水上署	2	1	1	4
飾 磨 署		1	1	2
合 計	2	2	2	6

#### ○ 出動状況（延べ時間）（時間）

	R3年	R4年	増減
神戸水上署	4,907	4,786	-121
飾 磨 署	1,196	1,287	+91
合 計	6,103	6,073	-30



#### (4) 装備資機材の整備充実

災害警備活動における被災者を救助するための装備資機材を始め、テロや大規模な列車・交通事故等、さまざまな事件事故等に対応し得る装備資機材の整備充実に努めている。

##### ○ 装備資機材の保有状況

(令和5年4月1日現在)

品目	主な装備資機材	品目	主な装備資機材
刑事装備品	拳銃検索装置、電動油圧式開口等	照明広報装備品	投光器、拡声装置等
生活安全装備品	有毒ガス検知器、放射能測定装置等	防弾(爆)対策装備品	防弾帽、防弾チョッキ等
地域装備品	耐刃防護衣、刺股等	光学音響装備品	超小型カメラ、暗視双眼鏡等
交通装備品	レーダー速度測定器、飲酒検知器等	治安警備装備品	車両強制停止装置、金属探知機等
防災対策装備品	救命索発射装置、救命ボート等	個人装備品	機動隊員用防護衣、出動服等
感染防止対策装備品	オゾンガス式除染装置等		

#### (5) 機動装備隊の編成・運用

24時間体制で、事件・事故等の発生時に機動力を駆使した装備資機材の調達、搬送及び設置を行う現場活動支援部隊として、機動装備隊を編成・運用している。

県下各所属からの要請に応じて、捜査用カメラの設置等をするほか、各地で行われる防災訓練では、警察装備の展示説明等を行っている。



【装備資機材の展示状況】

### 3 情報処理基盤の整備状況

事務の合理化、効率化を図り、各種警察事象に迅速、的確に対応するため、情報処理機器の整備、情報管理システムの拡充、職員の情報処理能力の向上に取り組んでいる。

#### (1) 情報処理機器

(令和5年4月1日現在)

機 器	台 数	運 用 所 属	
汎用コンピュータ	1	運転免許課	
業務用サーバ(システム)	10	情報管理課	
端末装置(パソコン)	9,816	本部 3,608	警察署 6,208
PⅢ形データ端末	2,852	本部 564	警察署 2,288
放置車両確認処理用携帯端末	200	本部 3	警察署 197

## 警察官が現場活動で使用する端末



【PⅢ形データ端末】



【放置車両確認処理用携帯端末】

### (2) 情報管理システムの概要

情報管理システムは、外部委託のほか、積極的に自主開発を進めており、システムの充実に努めている。

システム	主な対象業務
総合情報処理システム	盗難車両等の照会を行うシステムで、現場警察活動を支援するもの (総合情報照会)
管理情報処理システム	警察総合相談業務等、主として管理部門事務処理の効率化を図るもの (遺失物管理、警察総合相談管理等)
犯罪情報処理システム	各種犯罪発生状況等を一元管理し、分析することにより捜査活動を支援するもの (地域安全総合対策等)
交通情報処理システム	交通事故・違反情報等を管理するもの (交通事故抑止、放置駐車違反管理等)
防災情報処理システム	交通障害箇所情報や緊急通行車両等の情報を一元管理することにより、災害警備活動を支援するもの (兵庫県警察防災情報通信ネットワークシステム)

### (3) ウェブ会議システムの活用

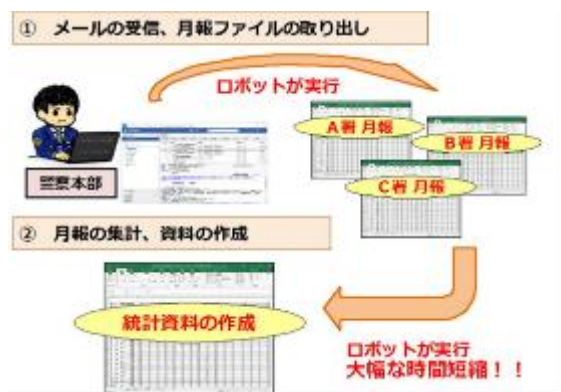
ポストコロナ社会に適応するため、県警ネットワーク内にウェブ会議システムを構築し、各種会議、研修、教養等に活用している。



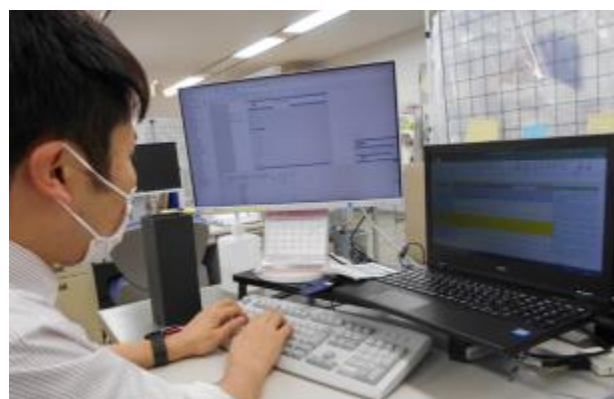
【ウェブ会議の開催状況】

### (4) 情報管理システムの合理化・高度化の推進

警察業務における事務の改善及び効率化を図るため、従来からのシステム開発に加え、統計資料の作成などの定型業務の自動化に向け、RPAの活用や、VBAによるツール開発に取り組んでいる。



【RPAによる業務の自動化(例)】



【VBAによるツールの開発状況】

### (5) 情報処理能力向上

職員に対して、新任情報管理担当者研修等の教養や、情報処理能力の各級検定を実施し、職員個々の情報処理能力向上を図り、県警察全体の情報処理能力向上に努めている。



【情報処理能力検定のオンライン教養実施状況】